

平成31年度 学校経営方針

板倉町立北小学校

1 学校教育目標

(1) 基本目標

心豊かで、よく考え、たくましい子の育成に努める。

(2) 具体目標

- ◎心豊かな子
- ◎よく考える子
- ◎たくましい子

2 学校ぐるみで最重点として求められる取組

ありがとう 北小

～感謝される子の育成を目指して～

- ・ 周囲（友だち、保護者、地域、学校）に感謝できる
- ・ 相手の目を見てあいさつと返事ができる
- ・ こうされたいと思うことを相手にしてあげられる

3 先生方に求めたい基本的姿勢

(1) 「情報は血液」を意識して

(校内)・児童にかかる情報を、関係者間で共有の上、組織的対応を

(校外)・学校であったことを担任、担当でとどめておくのはもったいない。

ぜひ、保護者につなぐ意識を

(2) 「教師は、授業で勝負」の信念のもと、意欲的な授業改善を

・ めあての設定と振り返りの実施

・ お互いに見せ合う授業（一人1授業や「ちょい見」等）、板書を残しておいて意見交換の実施

・ 各教科等での「学び合い活動」の実施

(3) 児童の言動に対し、鋭敏な人権感覚で対応を

(4) 「本来の目的を達成するために、その教育活動は適切か」という視点を

4 経営方針

○「人間関係形成・社会形成能力」の育成を図る

そのための具体的方針

自己肯定（有用）感の育成、思考力・判断力・表現力の育成に関わる学習内容や活動を洗い出した上で、

(1) 自ら学び、自ら考える力を身につけるための授業改善の推進

① 校内研修の充実により組織的授業改善に取り組む。

② 学び合いをとおして、思考力・判断力・表現力を育成する。

③ 少人数だからこそできる個に対応した支援に取り組み、自己肯定感を育む。

(2) 覇気や活力のある豊かな人間性を育む教育活動の展開

① 授業中における積極的生徒指導の充実を図る。

② 研ぎ澄まされた人権感覚で、児童の言動に対して敏感に対応する。

③ 児童主体のいじめ防止活動の推進と、生徒指導・教育相談を兼ね備えた児童支援を推進する。

(3) 特色ある教育課程の編成・実施・評価を目指したカリキュラム・マネジメント

① 行事毎や学期毎等、定期的な評価からPDCAサイクルにより教育課程の改善を図る。

② 地域と学校の連携のもと、地域に根ざした学校づくりを推進する。

③ 本校最終年度に際し、再編を念頭に、西小との連携を一層推進する。